

■パネリスト紹介と発題■

福音讃美歌WEBセミナー「讃美歌詞と讃美歌創作」2021/6/26

パネリスト紹介（発題順）

▼中山信児

JECA菅生キリスト教会牧師。福音讃美歌協会理事長・讃美歌委員。

作詞「主の愛のことばで（58）」「豊かな賜物（176）」「愛する者は主のもとに（334）」他
翻訳「御名をほめたたえる歌声より（245）」「私の望みは主イエスだけにある（359）」「深い川よ（あ2-15）」他多数。

共著：『新しい歌を主に歌え』『礼拝における讃美』。編集：『あたらしい歌』『教会福音讃美歌』『あたらしい歌2』。CD監修『教会福音讃美歌』全5巻。各地で讃美セミナー講師などを務める。eラーニング「[福音に生きる教会の讃美](#)」（Note）。

▼土井康司

日本同盟基督教団 下北沢聖書教会会員。教会では奏楽者として奉仕。讃美歌の作曲に取り組みつつ、讃美のCDや楽譜集の制作を手掛ける。ユーオーディア、日本賛美歌学会、賛美歌工房、JASRACに所属。福音讃美歌協会においては讃美歌委員会のメンバーとして『教会福音讃美歌』『あたらしい歌』『あたらしい歌2』の編集に携わった。

▼神山みさ

栃木県出身。ゴスペルフォークシンガー。98年モスバーガーのコンテストでグランプリ受賞。新宿駅前ストリートライブなどで叩きあげ、ファンを獲得する。スペイン映画「あなたになら言える秘密のこと」の挿入歌にも起用。2011年以降は被災地を訪問、支援している。2013年メジャーデビュー。2018年には初のエッセイ『新しい日ははじまる』も発売。昨年、活動20周年を記念したアルバム『Gospel Folk Singer』リリース。国内外のツアー、ラジオのパーソナリティなど精力的に活動している。

アルバム『ベストアルバム2000-2010』『月の雫』『Little bird』『On my side』他。DVD『その涙が渇くとき』『月の雫』他。[ショップ](#)

▼岩淵まこと

1977年、日本コロムビアよりシンガーソングライターとしてデビュー。CMソングや「のび太の宇宙開拓史」他の主題歌を歌う。1980年、小坂忠氏とデュオ活動。長女を天に送る経験から生まれた「父の涙」は広く愛されている。1996年ソロ活動。「歌声ペトラ」開催。代表曲「GOD BLESS YOU」。2007～9年CD『ぺんぺん草のうた』『日日草のうた』『サフランのうた』（星野富弘作詩）。2008年「コスモスのように」作曲（横田早紀江作詞）。2009年エッセイ『気分は各駅停車』。2011年「[東北応援団 LOVE EAST](#)」結成、東北への支援活動開始。岩淵由美子とのデュエットアルバム『北上夜曲』。2012年、各地でデビュー35周年の記念コンサート開催。東京基督教大学非常勤講師としてギターとウクレレを教える。2018年、CD『風に乗って』。今までに30枚以上のCDを発表。[ショップ](#)。

■福音讃美歌協会

[ホームページ](#) [Facebook](#) [YouTube](#) [メール](#)

▼発題1：中山信児

「そして、これらすべての上に、愛を着けなさい。愛は結びの帯として完全です。キリストのことばが、あなたがたのうちに豊かに住むようにしなさい。知恵を尽くして互いに教え、忠告し合い、詩と賛美と霊の歌により、感謝をもって心から神に向かって歌いなさい。」

コロサイ3:14、16

I. 「讚美歌」とは「礼拝で会衆がともに歌う信仰の歌」

- A. 礼拝：神の民がともに集って神を礼拝する
- B. 会衆：礼拝に集う人たち。年齢、性別、職業、教育、信仰歴、音楽の素養、嗜好
- C. とともに：多様性の尊重、弱さと強さへの配慮（コロサイ3:14-16）

II. 讚美歌に求められるもの：会衆が「心を一つにし、声を合わせて」歌えること（ローマ15:6）

- A. 公同性
 - 1. 私のいる場所
 - a) 私 < ○○教会 < ○○教団 < 福音派 < 日本の教会 < 世界の教会
 - 2. 私の生きている時代 過去→現在→未来
 - a) 変わらないもの：みことば、信仰の中心
 - b) 変わるもの：信仰の表現、日本語、社会の状況、人々の感性、私自身
- B. 歌詞：ともに歌える内容
 - 1. 信仰の一致
 - 2. 表現の一致
 - 3. 分かりやすい内容
- C. 音とことばの関係（詳細は土井兄の発題を参照）
 - 1. ことばと音符の数（有節定型詞）
 - 2. アクセントとメロディー
 - 3. 歌詞の勢いとメロディーの勢い

III. 讚美歌のいくつかのタイプ

何を誰にどう伝えたいか ∞ 理性と感性にどのように働きかけるか

- A. 教理・教育 『讚美歌』
- B. 伝道・感動 『聖歌』
- C. 黙想・直截 テゼの讚美歌
- D. 高揚・一体 プレイズ&ワーシップ

▼発題2：土井康司

タイトル「音楽を作る者として作詞者に願うこと」

I. ヨコ

- A. メロディーは音の連なりです。
- B. 歌詞は音節の連なりです。
- C. それらが組み合わされて歌になります。
- D. 両者を合わせる方法はひとつ通りではありません。
- E. 無数といっていいほどの組み合わせがあります。
- F. その中から最適なひとつを探し当てるつもりで、徹底的に吟味してください。

II. タテ

- A. メロディーにも歌詞にも、音の高低があります。
- B. 一致していると歌いやすく覚えやすくなります。
- C. しかし一致を目指すあまり内容が後回しになっては本末転倒です。
- D. どこまで一致させるか、どこを一致させるかも、徹底的に吟味してください。

▼発題3：神山みさ
タイトル「神様へ届けたい思い」

- I. 賛美の詩なら誰でも書けるはず = 神様へ伝えたい思いがあるはずだから
- II. チャレンジ：神様に手紙を書いてみる
- III. 誰かと共作してみる
- IV. 好きな賛美は自分がそれに共感するから。

代弁してくれる賛美がないならば作ってみよう

▼発題4：岩渕まこと
タイトル「畑で遊ぼう」

I. テーマ及び概要

A. 作詞作曲が難しい理由を考えよう

II. 要旨

A. 詞曲を作ろう

B. PlayとPlay（演奏する、子供の遊び）

C. 遊ぼう（遊びと優劣）

D. 遊び場所は何処

E. 鼻唄から楽曲への旅（耕し）

F. 信仰の姿としての文化（畑）